

報道関係者各位

プレスリリース

ヴィジョネア株式会社

2007年5月23日

「日中韓若手経済人コンテスト」にて

弊社代表取締役社長内古閑宏が「第1回日中韓若手経済人新人賞」を受賞！

この度、弊社代表取締役社長内古閑宏が、中華全国青年連合会、韓国明日新聞社との共催による「第1回日中韓若手経済人コンテスト・フォーラム」において、「日中韓若手経済人新人賞」を受賞しました。

「日中韓若手経済人コンテスト・フォーラム」は、中国最大の青年組織である中華全国青年連合会と韓国の大手新聞社である明日新聞社との共催により、日中韓の青年経済人による交流事業を目的として開催されました。3ヶ国それぞれコンテストによって優秀な青年経済人を選出し、5月19日・20日に北京人民大会堂において表彰式とフォーラムが行われました。

フォーラムにおいては、「若手経済人が創る、東アジア地域協力の新たな形と平和発展の方向」をテーマとして、「地域協力と、調和のとれた WIN-WIN 関係の構築」の理念の下、若手経済人が自由な感性で意見交換をし、新たなビジネスモデルを発信しました。

【日中韓若手経済人コンテスト・フォーラムについて】

主催

日本

財団法人ユースワーカー能力開発協会（DAY）

20代&30代起業家交流組織（TEO）

中国

中華全国青年連合会（共青团）

韓国

明日新聞社

日中韓若手経済人新人賞 20名を選出・表彰

審査基準：



将来その事業において日本でリーダー的な存在となる可能性が高いこと
株式上場していなくとも新規性と創造性に富んでおり将来成長するポテンシャルが高いこと
現在または将来において東アジアの企業と提携し相互発展の可能性が高いこと
エントリー時において年齢が45歳以下であること

審査委員：

平将 明 衆議院議員（元東京青年会議所理事長）
鈴木 英敬 内閣官房参事官補佐
猪塚 武 E Oジャパン会長（株デジタルフォレスト社長）
斎藤 信男 慶應大学名誉教授、駒澤大学GMS学部長
竹内 利明 電気通信大学産学官等連携推進本部特任教授
池本 正純 専修大学経営学部教授
堀添 勝身 （財）ユースワーカー能力開発協会理事長
酒井 弘行 あずさ監査法人中国事業本部長

【ヴィジョネア株式会社代表取締役 内古閑 宏 略歴】

1988年に慶應義塾大学理工学部機械学科修士課程を修了し、株式会社東芝に入社。
入社後は、青梅工場にてラップトップパソコンのハードウェア設計技師として活躍。
1994年に、ハーバード・ビジネス・スクール卒業。

帰国後、東芝本社のパソコン事業部にて、東芝では初のCD-ROM内蔵ノートパソコンを
企画、初のインターネットホームページ立ち上げにも携わる。

この頃、マイクロソフト本社に情報家電の共同開発プロジェクトを提案し、後にWindowsCE
として発表されることとなる。

その後1997年に、経営のイロハを学ぶべくソフトバンク株式会社に入社し、孫正義氏
のもとでビジネスの真髄を肌で感じる。ソフトバンクでは、現スカイパーフェクトTVである
JSkyBの立ち上げに携わり、GeoCities Japanの事業部長を務める。

1999年に、ヴィジョネアの前身となるKnowledge, Inc. を立ち上げ、技術のシーズと市場の
ニーズの橋渡しをし、「日本発、世界初」の技術を発信するため、
2000年、ヴィジョネア株式会社を設立。